

特32

779

開元年中行事

年中能行るや公事祭式ハ  
 以て年一おむる有 於前一様ニ  
 すの元日 諸君より 彼等  
 乃 學 膳 飲 此 白 酒 新 起 之 儀  
 生 小 甘 茶 豆 餅 之 儀 此 日  
 之 儀 乃 此 之 儀 此 之 儀 此 之 儀



紀元二千五百世六年第二月

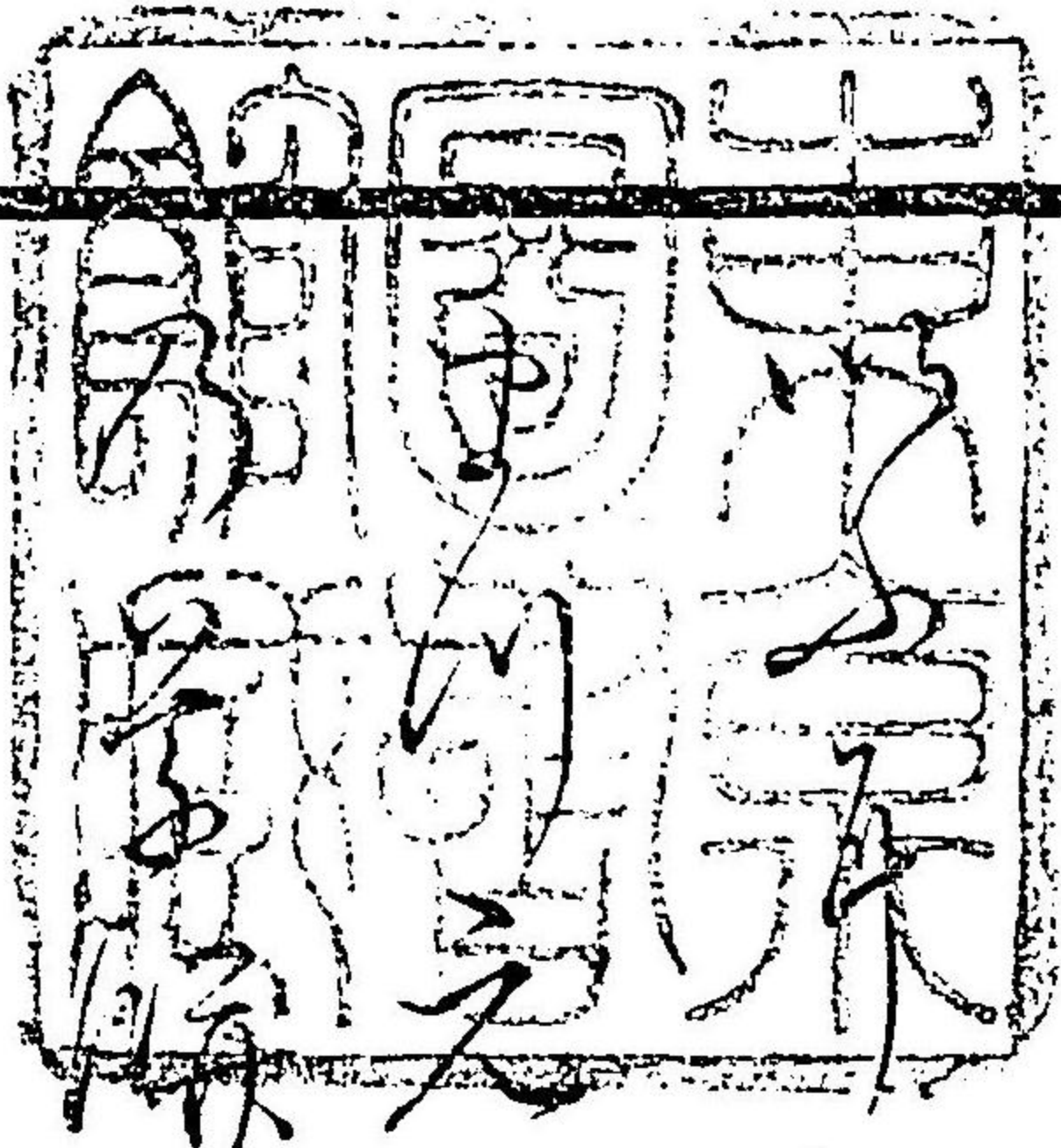
開元 年中行事

松井惟利著 井藏版



特32

779



年中能くもりや公事奉祭式ハ

おもむくあ 若くは一擧よ

日能強者より彼岸

能く白酒類加の徒

生ふ甘茶字甜り懐能くハ

もろ糸の結 鮎精天棚の

題七三ノ行草

紀元二千五百廿六年第二月

# 開 年中行事

松井惟利著并蔵版





此去月見始為子孫の酒  
夜結子の始身降子すつり  
の茶飯事始の始事煮  
多くハ飲合ふ其事してさるる  
民の禮式禮俗始あつり  
太平の餘澤いかにあつり

此の大は世太功曆を南からさつり  
きてハ冬の家よ年きて四月尔  
花咲二十の月あつり  
方おさうしあつりてあつるを祝ふ  
松井氏新よ年中けりすを祝  
きて世よんあつる大よ



是年あるの虫那うふかきまき  
たしめよ一さきほゆるの形

明治九年一月

花婿主人

開化年中行事

東京

第一月

一日 午前五時 四方拜是ハ早朝天皇自ら四方

山陵を拜し年災を拂ひ給ふ

午前八時 皇族大臣参議院省使廳藩府縣在京

勅任官并其麴香問詰朝拜

午前九時 皇族大臣参議以下勅任官并其麴香

問詰 皇太后宮へ参賀

同時 各國公使朝拜

松井惟利 著



午前十一時院省使廳藩府縣在京奏任官朝拜  
同時判任官各廳へ參賀

午後二時陸海軍在京奏任武官朝拜

二日 午九時在京有位華族朝拜

午前十一時院省使廳府縣在京御雇外國人奏

任官以上準定べき者の朝拜

元明天皇御祭日第四十四代の女帝養老五年

十二月七日崩壽六十一

飯豐天皇御祭日履中天皇の皇孫女崩壽四十

五御歴代を除く

三日 午前九時元始祭ハ天神地祇を祭り玉ふ

毎戸軒先へ御國旗をたて、祝ふ

賢所 皇靈 神殿等 御親祭

四日 同九時政始太政官代へ臨御先奏 神宮

の事○東京消防人足出ぞめ警視廳に於て御

酒賜ふ

五日 同十一時新年宴會毎戸へ御國旗をたて

て祝ふ○皇族大臣參議院省使廳藩府縣京在

勅任官麁香間詰等宮中に於て賜ふ

同時在京奏任官在地方勅奏任官各廳に於て



賜ふ

午前十一時有位華族管轄廳に於て賜ふ

同時判任官各廳に於て賜ふ

七日 崇神天皇御祭日第十代乃帝第六十八年

十二月五日崩壽百二十

八日 午前十時陸軍始主上臨御○東京公立小

學校發會

二品親子内親王御降誕日弘化二乙巳年十二

月十一日故徳川將軍家茂公嫁後ち静寛院宮

と稱は仁孝天皇第八皇女今上天皇の御伯母

九日 午前十時海軍始主上臨御

武烈天皇御祭日第廿六代の帝第八年十二月

八日崩壽五十七

十日 天智天皇御祭日第三十九代の帝白鳳廿

二年十二月三日崩壽五十八

十一日 安寧天皇御祭日第三代の帝第三十八

年十二月六日崩壽五十七

清和天皇御祭日第五十七代の帝元慶四年十

十二月四日崩壽三十一

十五日 光仁天皇御祭日第五十代の帝天應元



年十二月廿三日崩壽七十七

十六日 東山院天皇御祭日第百十三代の帝ホウ

永六年十二月十七日崩壽三十五

十七日 持統天皇御祭日第四十二代の女帝メイ

宝二年十二月廿三日崩壽五十八

十八日 御歌始ミタカ

十九日 午前十時在京神宮奏任以上并シノ神道カミ

教導職六級以上朝拜カウ

廿日 午前十時在京各宗教カク教導職六級以上朝拜カウ

廿一日 内親王無ナイ呂ロ薰子御降誕日明治八乙亥コウ

年一月廿一日今上天皇の皇女御息女ミコメ梅宮ウメノミヤと

称ナヅケ

廿七日 安閑天皇御祭日第二十八代乃帝第二

年十二月十七日崩壽七十

後花園院天皇御祭日第百二代の帝ミチノ文明二年

十二月廿七日崩壽五十二〇東京富士見町招

魂社祭ミタマ

世日 孝明天皇御祭日第百廿一代の帝慶應二

年十二月廿五日崩壽三十七今上天皇乃御父

此日毎戸へ御國旗をたて、祝ふ



此月の上旬シヤウシユンみき小松菜コマツナ○下旬ゲシユンみきからし菜カラシナを收入シラミラを

第二月

一日 春日神社祭カスガ○官幣大社大和國添上郡奈良ナラみあり祭神ミコハ健御賀豆智命タケミコノカマタチノミコ伊波比主神イハヒノミコ天之子アメノコ八根命ヤチネノミコ比賣神ヒメノミコの神々カミナリなり  
枚岡神社祭ヒサノガ○官幣大社薩摩國開門嶽サツマノカニノカミの麓ノソコみあり祭神ミコハ天兒屋根命アメノコノヤネノミコ比賣神ヒメノミコ武甕槌命タケウツリノミコ齊主命イヒメノミコの神々カミナリなり

四日 祈年祭イハヒメノミコ班幣イハヒメノミコ

六日 高倉院天皇御祭日タカクラ第八十一代の帝ヤマト養和

元年正月十四日崩壽二十一

正親町天皇御祭日オホサキノミコ第百六代の帝ヤマト文祿二年正

月五日崩壽七十五

八日 仁德天皇御祭日ニシノミコ第十七代乃帝ヤマト第八十七

年正月十六日崩壽百二十二

崇光院天皇御祭日タカミツノミコ北朝ホクノチヨウの帝ヤマト應永五年正月十

三日崩壽六十五

大原野神社祭オホハラノ○官幣中社山城國乙訓郡大原

野村ノムラみあり祭神ミコハ健御雷神タケミコノカミナリ齊主命イヒメノミコ天兒アメノコ



屋振命 比賣神の神々なり

九日 允恭天皇御祭日第二十代の帝第四十二年正月十四日崩壽八十

十一日 紀元節此日ハ神武天皇御即位乃日ニ

して〇元年辛酉是より本年まで二千五百三十六年ニ於る依て毎戸へ御國旗を立て祝ふ

十三日 反正天皇御祭日第十九代の帝第六年

正月廿三日崩壽六十

後朱雀天皇御祭日第七十代の帝寛徳二年正月十八日崩壽三十七

十七日 四條天皇御祭日第八十八代の帝仁治

三年正月八日崩壽十二

廿一日 仁孝天皇御祭日第百廿代の帝弘化三

丙午年正月廿六日崩壽四十七今上天皇の御

祖父

廿三日 孝安天皇御祭日第六代の帝第百二年

正月九日崩壽百三十七

廿八日 清寧天皇御祭日第二十三代の帝第五

年正月十六日崩壽四十二

此月午の日稻荷祭



下旬みのおたふく大根細根大根を収入す

第三月

一日 出雲神社祭○官幣大社出雲國神門郡杵築みあり祭神ハ大國主神あり

六日 圓融天皇御祭日第六十五代乃帝正曆二年二月十二日崩壽三十二

八日 仲哀天皇御祭日第十四代の帝第九年二月六日崩壽五十二

十日 事比羅神社祭○國幣小社讚岐國那阿郡象頭山あり祭神ハ大物主命 崇徳天皇

り○東京府社琴平町事比羅神社祭

十二日 繼體天皇御祭日第廿七代の帝第廿五年二月七日崩壽八十二

十六日 廣田神社祭○官幣大社攝津國武庫郡廣田村あり祭神ハ撞賢木嚴之御魂 天疎

向津媛命の神となり

十七日 宣化天皇御祭日第二十九代の帝第四年二月十日崩壽七十二

廿日 後光嚴院天皇御祭日北朝の帝應安七年正月廿九日崩壽三十一



廿三日 花山院天皇御祭日第六十六代の帝寛

弘五年二月八日崩壽百四十一

孝靈天皇御祭日第七代の帝第七十六年二月

八日崩壽百二十八

廿五日 後嵯峨院天皇御祭日第八十九代の帝

文永九年二月十七日崩壽五十三

東京かうじ町平川天神祭

廿六日 後西院天皇御祭日第百十一代乃帝貞

享二年二月廿二日崩壽四十九

春の彼岸三日前頃青瓠絲瓜を蒔く○同く五

日前獨活の土をふる○同く四日目烟草を

等の種を蒔く○同く六日目さつばを蒔

く○同く八日目頃紫蘇を蒔く○同く十日目

頃刀豆を蒔く○同く十一日目頃玉蜀黍を蒔

く○同く十三日目頃早稲菜豆晚稲菜豆等を

蒔くを記

第四月

一日 應神天皇御祭日十六代乃帝第四十一年

二月十五日崩壽百十一

二日 松尾神社祭○官幣大社山城國葛野郡山



田村ノあり祭神ハ大山咋命オホヤマノサマ 中津島姫命ナカツシマノヒメノミコト乃

神ノなり

平野神社祭ヒラノノカミ○官幣大社山城國葛野郡平野村

みあり祭神ハ今木神イマキノカミ 久度神クダノカミ 古開神コカイノカミ 比

咩神ウラハシの神ノなり

三日 神武天皇御祭日ニ竹華族の輩禮拜○御

父を鷄トリ茸キノコ草クサ不合アヘス尊ノミと云御母を玉依姫タマヨリヒメといふ

人皇比初代ニみりて第七十六年三月十一日崩

壽百二十七

梅宮神社祭ウメノミヤノカミ○官幣中社山城國葛野郡西梅津

村ノにあり祭神ハ酒解神サカトケノカミ 大若子神オホワカコノカミ 小若子

神ノの神々なり

四日 後鳥羽院天皇御祭日第八十三代の帝延ノミ

應元年二月廿二日崩壽六十

廣瀬神社祭ヒロセノカミ○官幣大社大和國廣瀬郡河合村

みあり祭神ハ若宇迦賣命ワカウヂノミコトなり

龍田神社祭リウテンノカミ○官幣大社大和國平群郡龍田村

みあり祭神ハ天御柱命アマノムサヒノミコト 國御柱命クニノムサヒノミコトの神々

り

護王神社祭モリノカミ○山城國葛野郡高雄山タカオノヤマにあり祭



神ハ和氣清磨呂形リ

六日 後村上天皇御祭日第九十八代の帝正平

廿三年三月十一日崩壽四十

七日 内親王淑子御誕降日文政十一年二月廿

三日桂宮と称む仁孝天皇の第四皇女今上天

皇の御伯母

九日 大神神社祭○官幣大社大和國城上郡三

輪村みろり祭神多倭大物主櫛毼玉命ふり

稻荷神社祭○官幣大社山城國紀伊郡稻荷山

みろり祭神ハ猿田彦神 倉稻魂神 大宮女

命神々なり

十三日 桓武天皇御祭日第五十一代の帝延暦

二十五年三月十七日崩壽七十

日枝神社祭○官幣大社近江國甲賀郡坂本村

みあり祭神ハ大山咋神なり

十五日 加茂別雷神社○官幣大社山城國愛宕

郡上加茂村みあり祭神ハ別雷神ふり

加茂御祖神社○官幣大社山城國愛宕郡下加

茂村みろり祭神ハ加茂健角神命 王依姬命

の神々なり



十八日 推古天皇御祭日第三十四代の女帝第

三十六年三月七日崩壽七十五

吉田神社祭○官幣中社山城國愛宕郡吉田村

にあま祭神ハ健御賀豆智命 伊波比主命

天之子八根命 比賣神乃神々なり

廿日 履中天皇御祭日第十八代の帝第六年三

月十五日崩壽七十七

被岸より十六日目頃南瓜乃種を蒔く○同く

十七日目頃里芋の類馬鈴薯薯蕷佛掌薯振芋

を蒔く○春土用十日日目頃藍を蒔く同く七日

前頃西瓜冬瓜を蒔く○同く五日日目頃こぼう

を蒔く○同く二日前頃草とうきを蒔く○八

十八夜より十六日目頃生おを蒔く○春土

用唐ごほを蒔く○同く六日目頃葱のかるく

○八十八夜とり八日目前き瓜白瓜まくハ瓜

菜瓜大角豆十六大角豆藤豆等を蒔くあり

第五月

二日 安徳天皇御祭日第八十二代の帝文治元

年三月廿四日崩壽八

三日 後白河天皇御祭日第七十八代の帝建久



三年三月十三日崩壽六十六

十日 仁明天皇御祭日第五十五代の帝嘉祥三

年三月廿一日崩壽四十一

中御門天皇御祭日第百十四代の帝元文二年

四月十一日崩壽三十七

十八日 淺草神社祭舊三社權現あり

廿一日 開化天皇御祭日第九代の帝第六十年

四月九日崩壽百十五

後一條院天皇御祭日第六十九代の帝長元九

年四月十七日崩壽二十九

廿三日 用明天皇御祭日第三十二代の帝第二

年四月九日崩壽六十九

廿五日 後伏見院天皇御祭日第九十四代乃帝

延永元年四月六日崩壽四十九

廿六日 欽明天皇御祭日第三十代の帝第三十

三年四月十五日崩壽六十三

元正天皇御祭日第四十五代の帝天平二十年

四月廿一日崩壽六十九

廿八日 後冷泉院天皇御祭日第七十一代乃帝

治曆四年四月十九日崩壽四十四



後拍原院天皇御祭日第百四代の帝大永六年

四月七日崩壽六十三

櫻町天皇御祭日第百十五代の帝寛延三年四

月廿三日崩壽三十一

皇后宮御誕辰日嘉永四庚戌年四月十七日御

名を美子と称す聖算明治九丙子年二月二十

五歳十箇月

八十八夜の一日前夏そばを蒔く○八十八夜

みハ麻を蒔く○同く四日目又蜀黍を蒔く○

早稲豆を蒔く○同く八日鴈喰豆茶豆黒豆青

豆等を蒔く○同く十二日目頃小豆の類を蒔

く○春の土用明けより十四日目頃早稲稗を

蒔く○八十八夜より十六日目頃晩稲豆を蒔

く○同く十四日目頃夏大根を蒔く○春乃土

用明けより十七日目頃晚稲稗を蒔く○同く

廿二日目頃とほを蒔く○入梅の十二日前晚

稲小豆を蒔く○同く九日前頃黍を蒔くなり

第六月

一日 丹生川上神社祭○官幣大社大和國吉野

郡丹生村みろり祭神ハ意賀美神なり



貴船神社祭 ○官幣中社山城國愛宕郡貴船村

あり祭神ハ闇麗神あり

東照宮祭 ○別格官社下野國都賀郡日光に在

り祭神也徳川家康公あり

東京の府社上野東照宮祭

三日 顯宗天皇御祭日第二十四代の帝第三年

四月廿五日崩壽世八

四日 神宮月次祭幣帛發遣 ○天平宝字元年始

て伊勢神宮幣帛使を命せらるる

五日より八日まで東京大傳馬町八雲神社祭

七日 聖武天皇御祭日第四十六代の帝天平勝

宝八年五月二日崩壽五十六

此日より十四日まで東京南傳馬町須賀神社

祭

十日より十三日迄東京小舟町八雲神社祭

十一日 三條院天皇御祭日第六十八代乃帝寛

仁元年五月九日崩壽四十二

十四日 後圓融院天皇御祭日北朝の帝明德四

年四月廿六日崩壽三十六

十五日 淳和天皇御祭日第五十四代の帝承和



七年五月八日崩壽五十五

八阪神社祭○官幣中社山城國愛宕郡八坂ハシラみ

あり祭神ハ素盞鳴尊スサノリ 稻田比賣命イナ 八柱御ハシラ

子神の神々なり

札幌神社祭○官幣小社石狩國札幌郡圓山村マツカ

にあり祭神ハ大己貴神オホナキ 少彦名神スチヒコ乃神々な

り

東京の府社永田町日枝神社祭○赤坂氷川神ヒメ

社祭

廿一日 後三條院天皇御祭日第七十二代の帝

延久五年五月七日崩壽四十一

熱田神宮祭○官幣大社尾張國愛知郡熱田アノ

あり祭神ハ天照大御神 須佐之男命スサノ 日本ニッポン

武尊タケノ 宮簀姫命ミヤサヒメ 建稻種命タケノカ比神ヒカミなかり

廿二日 綏靖天皇御祭日第二代第廿三年五月

十日崩壽八十四

廿五日 仲恭天皇御祭日第八十六代の帝ニギハヤヒ文曆モンリキ

元年五月廿日崩壽十七

廿日 大枝

住吉神社祭○國幣中社壹岐國壹岐郡住吉村スミヤ



みりり祭神ハ上筒之男命 中筒之男命 底筒之男命の神となり  
上旬みり裸麥大麥からし菜の種を收入む○  
半夏生より十日前早稲粟を蒔く○同く九日前頃晚稲粟を蒔く○同く七日前頃葱ごまを蒔く○下旬みりらつきやう蒜等を收入む

第七月

一日 建勲祭

十日 村上天皇御祭日第九十八代の帝康保四年五月二十五日崩壽四十三

安房神社祭○官幣大社安房國安房郡大神宮村みあり祭神ハ天太玉命なり

十二日 湊川神社祭○別格官社攝津國八部郡兵庫みあり祭神ハ楠正成公なり

十八日 東京四ツ谷須賀神社祭

廿二日 文武天皇御祭日四十三代の帝慶雲四年六月十五日崩壽六十一

廿四日 後宇多院天皇御祭日第九十二代の帝元亨四年六月廿五日崩壽五十八

廿六日 垂仁天皇御祭日第十一代の帝第九十



九年七月三日崩壽百四十一

廿七日 鳥羽院天皇御祭日第七十五代の帝保

元元年七月二日崩壽五十五

廿九日 成務天皇御祭日第十三代の帝第六十

年六月十一日崩壽百八

卅一日 一條院天皇御祭日第六十七代の帝寛

弘八年六月廿二日崩壽三十二

夏の土用十八日前頃みんじん〇同く二日前

頃九日大根を蒔く〇中旬みハ大角豆十六大

角豆夏そば等を収入也〇下旬みハ藤豆刀豆

夏大根漬くハウミ紫蘇草モウキ等を収入也

白河天皇御祭日第七十三代の帝大治四年七

月七日崩壽七十七

第八月

一日 氷川神社祭〇官幣大社武藏國足立郡高

鼻村みあり祭神ハ須佐之男命なり

三日 光明院天皇御祭日北朝の帝康暦二年六

月二十四崩壽六十

四日 北野神社祭〇官幣中社山城國葛野郡北

野みあり祭神ハ管原道實公あり



九日 平城天皇御祭日第五十二代の帝天長元年七月七日崩壽五十一

十一日 後龜山院天皇御祭日第九十九代の帝應永廿九年七月十五日崩壽七十六

十五日 男山神社祭○官幣大社山城國綴喜郡男山にあり神ハ品陀別命 息長帶姫命 比賣神の神々なり

宇佐神宮祭○官幣大社豊前國宇佐郡宇佐にあり祭神ハ譽田別尊 仲姫命 大帶姫命 乃神々あり

鹿兎島神宮祭○官幣中社大隅國桑原郡宮内村にあり祭神ハ 天津日高彦種々出見命あり

東京の府社深川富ヶ岡八幡神社祭○同市ヶ谷八幡神社祭○同築土八幡神社祭○同若宮八幡神社祭

十六日 堀河院天皇御祭日第七十四代の帝嘉承二年七月十九日崩壽二十九

三島神社祭○官幣大社伊豆國君澤郡三島にあり祭神ハ玉籬入彦嚴之事代主神あり

三島神社祭○官幣大社伊豆國君澤郡三島にあり祭神ハ玉籬入彦嚴之事代主神あり

三島神社祭○官幣大社伊豆國君澤郡三島にあり祭神ハ玉籬入彦嚴之事代主神あり



十八日 鹿島神宮祭 ○官幣大社常陸國鹿島郡

鹿島みあり祭神ハ武甕槌命なり

香取神宮祭 ○官幣大社下總國香取郡香取に

あり祭神ハ伊波比主命なり

鎌倉宮祭 ○官幣中社相模國鎌倉郡二階堂村

にあり祭神ハ護良親王なり

廿四日 弘文天皇御祭日第四十代の帝元年壬

申七月二十三日あり崩壽二十五

廿五日 後深草院天皇御祭日第九十代の帝嘉

元二年七月十六日崩壽六十二

廿七日 齊明天皇御祭日第三十八代乃女帝白

鳳十二年七月廿四日崩壽六十八

廿八日 嵯峨天皇御祭日第五十三代の帝承和

九年七月十五日崩壽五十七

廿九日 近衛院天皇御祭日第七十七代の帝久

壽二年七月廿三日崩壽十七

卅日 六條天皇御祭日第八十代の帝安元二年

七月十七日崩壽十三

卅一日 孝昭天皇御祭日第五代乃帝第八十三

年八月五日崩壽百十四



桃園院天皇第百十六代の帝宝曆十二年七月十二日崩壽二十二

二百十日乃前秋大根を蒔く○夏土用百けの日より十八日目頃より秋そばを蒔く○上旬より西瓜菜瓜麻晚稻菜豆小豆豆類を収入す○中旬早稻稗同黍同豆玉蜀黍馬鈴薯藍南瓜冬瓜青瓠絲瓜等を収入す○下旬に晩稻黍等を等を収入す

第九月

一日 孝謙天皇御祭日第四十七代の女帝天平

宝字二年位を譲る

七日 後堀河院天皇御祭日第八十七代の帝文曆元年八月六日崩壽二十三

八日 宇多院天皇御祭日第六十代の帝承平元年七月十九日崩壽六十五

称光天皇御祭日第一代の帝正長元年七月廿日崩壽二十八

九日 雄略天皇御祭日第二十二代の帝第三十三年八月七日崩壽六十二

生國魂神社○官幣大社攝津國東生郡生魂



あり祭神ハ生島神 足島神の神々なり

十日 仁賢天皇御祭日第二十五代乃帝十一年

八月八日崩壽五十一

東京小石川氷川神社祭

十一日 朱雀天皇御祭日第六十三代の帝天曆

六年八月十五日崩壽三十

後水尾院天皇御祭日第百八代乃帝延宝八年

八月十九日崩壽八十五

十二日 二條院天皇御祭日第七十九代の帝永

萬元年七月廿八日崩壽二十三

十五日石上神社祭○官幣大社大和國山邊郡布

留村より祭神ハ布都御魂劔十種瑞玉あり

東京の府社神田神社祭○同芝大神宮祭○東

京築土神社祭○同小日向田中八幡神社祭

十六日 敏達天皇御祭日第三十一代の帝第十

四年八月十五日崩壽四十八

十七日 神宮神嘗祭 伊勢神宮の御祭日より

て帛幣を御納免天皇始め萬民遙拜し毎戸御

國旗を立て祝ふ

十八日 後二條院天皇御祭日第九十五代の帝



德治三年八月廿五日崩壽二十四

豐國神社祭○別格官社山城國愛宕郡阿彌陀

峰にあり祭神ハ豊臣秀吉公なり

十九日 霧島神社祭○官幣大社大隅國噲唎郡

田口村あり祭神ハ天饒石天津日高彦火瓊

々杵尊あり○東京赤城神社祭

廿一日 光孝天皇御祭日第五十九代乃帝仁和

三年八月廿六日崩壽五十八

崇徳院天皇御祭日第七十六代の帝長寛二年

八月廿日崩壽四十六

白峰宮祭○官幣中社山城國愛宕郡今出川通

飛鳥井町あり祭神ハ崇徳天皇あり

東京白山神社祭○同根津神社祭

廿二日 井伊谷神社祭○官幣中社遠江國引佐

郡井伊谷あり祭神ハ宗良親王あり

廿三日 秋季祭

廿四日 靈元院天皇御祭日第百十二代の帝享

保十七年八月六日崩壽七十九

廿五日 安康天皇御祭日第廿一代の帝第三年

八月九日崩壽五十六



後陽成院天皇御祭日第一百七代の帝元和三年

八月廿六日崩壽四十七

東京小石川牛天神祭

廿六日 日前神社祭○官幣大社紀伊國名草郡

秋月村みあり祭神ハ天懸大神あり

國懸神社祭○官幣大社紀伊國名草郡秋月村

みあり祭神ハ國懸大神あり

廿七日 後醍醐天皇御祭日第九十七代の帝延

元六年八月十六日崩壽五十二

二百十日みあなが燕小燕天王寺燕を蒔く○

秋乃彼岸十五日前縮緬菜三河島菜畑蒔く○

同く六日前葱を蒔くらつきやう蒜を蒔く○

秋の彼岸みあごを蒔く○秋土用より十

二日目かうきんさうきんきくを蒔く○上旬

よハ胡麻唐胡麻晚稻小豆等を收入む○中旬

にハ晚稻稗里芋其外芋類九日大根等を收入

む○下旬よ早稻粟蜀黍煙草せうがを收入む

第十月

一日 懿徳天皇御祭日第四代の帝第三十四年

九月八日崩壽七十七



四日 天武天皇御祭日第四十三代の帝朱鳥元年九月九日崩壽六十五年九月九日崩壽六十五年九月五日崩壽六十二年七月 後奈良院天皇御祭日第百五代の帝弘治三年九月五日崩壽六十二年十月 湯島天神祭○事乃比羅神社祭十一月 孝元天皇御祭日第八代の帝第五十七年九月二日崩壽百十七文德天皇御祭日第五十六代の帝天安二年八月廿七日崩壽三十三十二月 龜山院天皇御祭日第九十一代の帝嘉

元年九月十三日崩壽五十七十三日 順德院天皇御祭日第八十五代の帝仁治三年九月十二日崩壽四十六十六日 伏見院天皇御祭日第九十三代の帝文保元年九月三日崩壽五十三廿八日 陽成院天皇御祭日第五十八代の帝天曆三年九月廿九日崩壽八十二醍醐天皇御祭日第六十一代の帝延長八年九月廿九日崩壽四十六廿日 後光明院天皇御祭日第一百十代の帝承應



三年九月廿日崩壽二十二

卅一日 後土御門院天皇御祭日第百三代の帝

明應九年九月廿八日崩壽五十九

秋の土用十四日前頃紅花を蒔く○同く十三

日前胡葱小麥等を蒔く○同く八日前頃京菜

小松菜鷹菜からし菜等を蒔く○同く六日前

頃蠶豆を蒔く○同く三日前裸麥を蒔く○同

く二日目豌豆乃類を蒔く○秋の土用入の日

よき六日目頃大麥百合の芽植をまき○上旬よ

ハ早稲おかほ晩稲粟豆とま鷹喰豆茶豆黒

豆青豆ハツ頭芋綿等を收入む○中旬よハ早

稲いぬ晩稲おかほとつは芋等を收入む○お

りて稲を收入む

第十一月

三日 天長節是ハ今上天皇の御誕辰日なり嘉

永壬子年九月廿二日御名を睦仁と称を聖算

明治丙子年二月二十三歳四ヶ月皇考也孝明

天皇御母ハ九條尚忠郷女御名を夙子と云ふ

此日ハ毎戸へ御國旗をたて、祝ふ

七日 水瀬宮祭○官幣中社攝津國島上郡廣瀬



村よりあり祭神の後鳥羽天皇 土御門天皇

嘸徳天皇なり

十日 新嘗祭班幣

十三日 土御門院天皇御祭日第八十四代乃帝

寛喜三年九月十二日崩壽三十七

十四日 淳仁天皇御祭日第四十八代の帝天平

神護元年十月廿三日崩壽三十三

十七日 談山神社祭○別格官社大和國十市郡

多武峰よりあり祭神の大織冠鎌足公あり

廿日 舒明天皇御祭日第三十五代比帝第十三

年十月九日崩壽四十九

廿二日 鎮魂祭

廿三日 新嘗祭ハ本年の新穀を神祇に供せら

れ天皇も聞食をる御祭日なり故に毎戸へ御

國旗を立て祝ふ

廿七日 孝徳天皇御祭日第三十七代の帝白鳳

五年十月十日崩壽五十九

冷泉天皇御祭日第六十四代の帝寛弘八年十

一月廿四日崩壽六十二

酉の日大鳥神社祭○浅草千住四ツ谷さめが



とし其池所よりあり

秋の土用より十二日め頃新きく紫蕪を蒔く  
○同く明乃日より二日免頃おたふく大根細  
根大根を蒔く○上旬みハ佛掌薯薯蕷晚稻て  
秋そばにんじん百合等を收入む○中旬みハ  
三河島菜縮緬菜秋大根おが蕪天王寺蕪小蕪  
等を收入む

第十二月

四日 神宮月次祭幣帛發遣六月と同じ  
明正院天皇御祭日第百九代元祿九年十

十一月十日崩壽七十四

六日 後桃園天皇御祭日第百十八代の帝安永

八年十月廿九日崩壽二十二

九日 花園院天皇御祭日第九十六代の帝貞和

四年十一月十一日崩壽五十二

後小松院天皇御祭日第百代の帝永享五年十

月廿日崩壽五十七

十二日 光格天皇御祭日第百十九代の帝天保

十一年十一月十九日崩壽七十

十四日 崇峻天皇御祭日第三十三代の帝第五



年十一月三日崩壽七十三

深川八幡の市

十七日 浅草観音の市

二十日 神田神社の市

廿三日 景行天皇御祭日第十二代の帝第六十

年十一月七日崩壽百四十三

廿四日 後櫻町院天皇第百十七代の女帝文化

十年閏十一月二日崩壽七十四

廿一日 大抜

開化年中行事

誤正

〇一の裏午九と「午前九」の誤り

右此外にまた誤謬の部分ありまゝやうから

何里は志さらそるき郵便よて御手数なるら早

く賣弘所又ハ私第へ御報知頂表はれを改正

た上に一部被呈上ます

著者 誌



松園鉛版

明治九歲第二月二日御届

松井惟利著出板人

第三大區五小區筑土  
八幡町二十八番地

神田西福田町

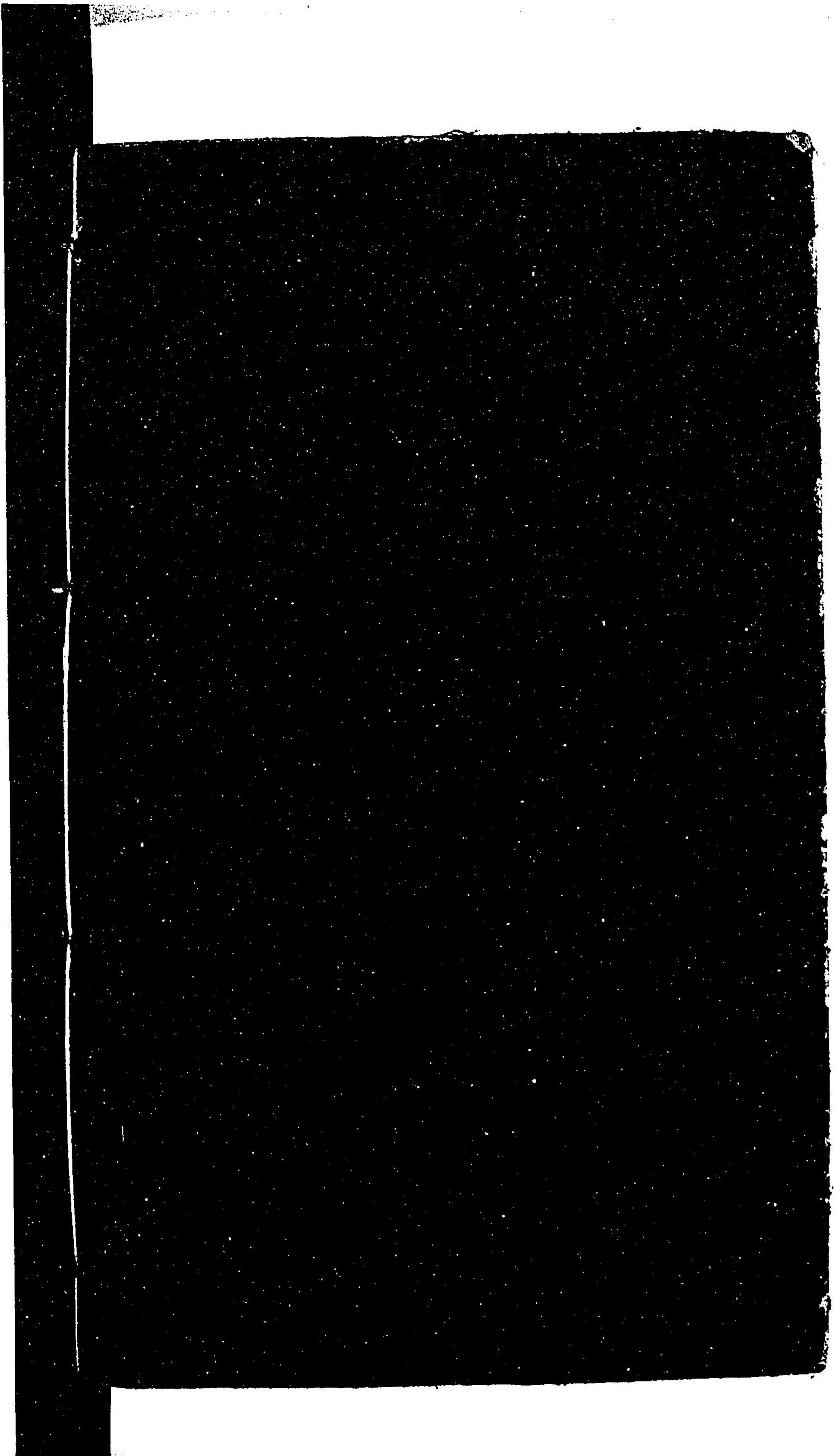
伊藤岩次郎

馬喰町二丁目

荒川藤兵衛

東京書林

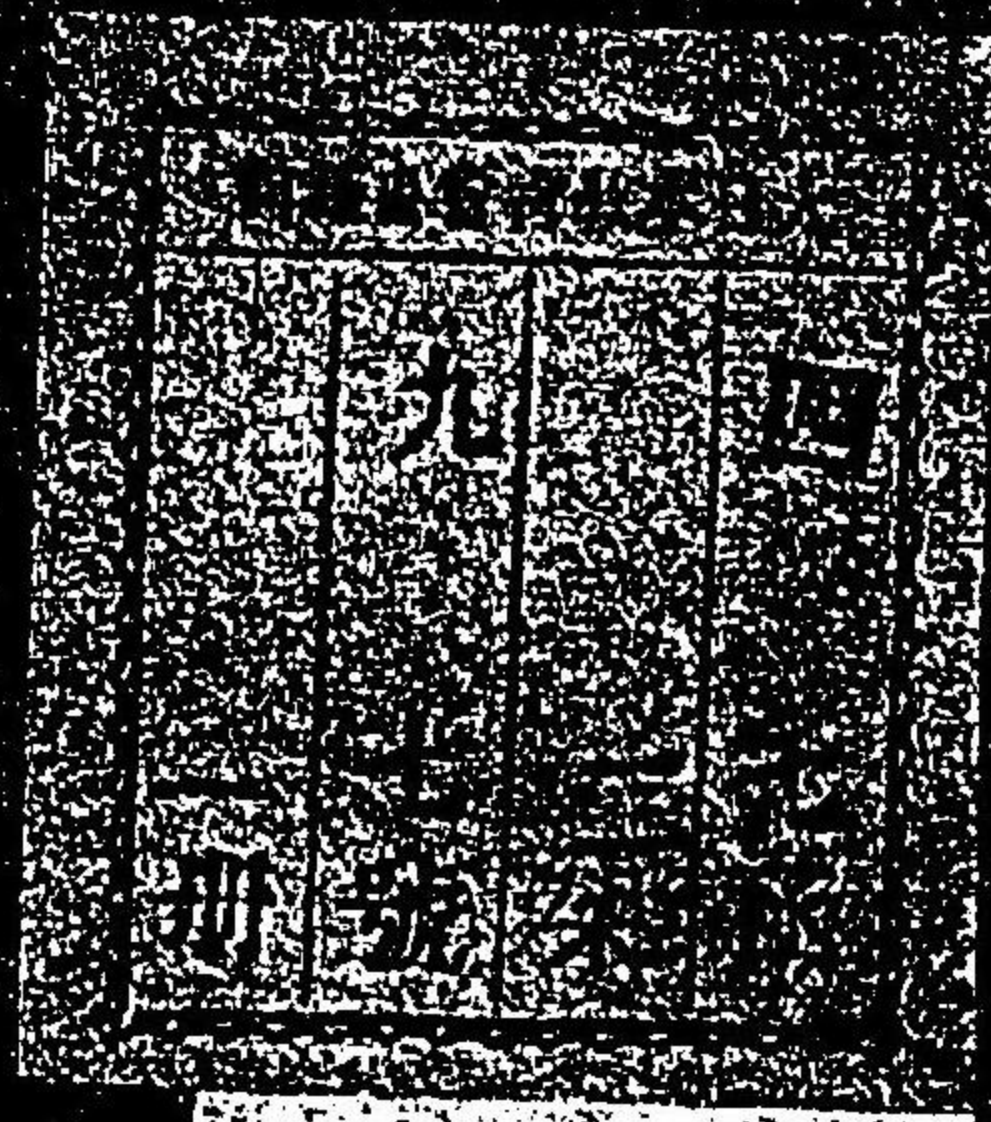






特32

779



開化年中行事

027303-000-7

特32-779

開化年中行事

松井 惟利/著

M9

ADJ-0050

